

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年六月度 入選句（投稿総数一千八百五句・一般投句数六百三十五句）

特選

たんぽぽの絮を吹いてる反抗期

大垣市

棚橋 みさを

選者 大堀 武直

誰にでも経験があると思うが、自我意識の高まる青年前期に、親に対して反抗的になる。些細なことで口答えをし外に飛び出す。

たんぽぽの絮を思い切り吹いて空に飛ばす。次々に吹き飛ばす。その内に気分が治まり、家に帰る。その時の少年（少女）の表情がありありと目に浮ぶ。

麦笛の鳴りて輝く童の眼

不破郡垂井町

児玉 信子

麦笛はなかなかうまく鳴らない。フーフーと息を吹く音だけが続く。べそをかき始めたかもしれない。励ましてもう一度吹かせてみる。ビーと少し鳴った。後はコツが分かったのか上手に吹けるようになった。童の眼がべそから一転きらりと輝いた。
励ました自身の眼も輝いた。

父の日や父の昔を尋ねをり

安八郡神戸町

高橋 日出美

たずねるの漢字はいろいろある。訪ねる（訪問する）。訊ねる（質問する）。そしてこの句の尋ねる（何かを手づるにして源を求めていく）。
父の日は、父のことが無性に偲ばれる。父のことをもっと知りたくなる。生前にいろいろ訊ねればよかった。そんな気持ちが伝わってくる。

秀逸

葉桜となりて麋城の聳へたつ

大垣市

渡辺 一光

朝掘りの太き筍鉾のあと

大垣市

中尾 恭子

薰風に子ども歌舞伎の声揃ふ

大垣市

松岡 千代

青葉闇光るところは潦

大垣市

北浦 典子

伊吹風吐かせ曇みぬ鯉幟

大垣市

多賀 照子

もう少し歩こうげんげ田まだ続く

大垣市

町野 眞佐子

一滴が名水とならむ山若葉

愛知県刈谷市

竹本 美喜孝

花いかだ少しくずして手を洗ふ

三重県いなべ市

児玉 キミ子

母にだけわかる文字ある種袋

福井県福井市

三ツ山 しげ子

小さき鎌大きく構へ仔蟪蛄

大垣市

大西 誠一

入選

喉越しに磯の香しみる心天
彼岸会や閻魔様とて目を細む
梅雨近き空を睨むや邪鬼瓦
大垣の枅で掬わん若葉風
縁日に掬はれ飼はれ屑金魚
黒揚羽道づれにして女坂
大の字に寝て大欠伸夏座敷
住みなれし床の軋めき梅雨めきぬ
小走りの巫女に纏はる梅雨の蝶
号令の東北訛若葉風

安八郡神戸町	早津	郁男
大垣市	服部	聖治
愛知県半田市	加藤	清美
埼玉県川口市	鶴谷	白雪
大垣市	大西	誠一
大垣市	田中	雅子
揖斐郡大野町	藤田	涼子
大垣市	尾関	逸子
大垣市	村田	通夫
大垣市	鈴木	美江子

入選

家々に合わせ立てたる鯉幟
春うらら歩きながらも夢うつつ
道のべに咲く小でまりや通学児
夏めくや檜の煌く稚児歌舞伎
少年の風切る速さ夏来る
あぢさゐに顔寄せて行く下校の子
紫は明治の色や鉄線花
岩影の鮎に伸びたる竿撓う
振子時計刻む昭和の夏座敷
雨雲の腕を組む空桜桃忌

大垣市	白井	静子
愛知県豊明市	鈴木	泰子
安八郡神戸町	澤崎	和子
不破郡垂井町	江崎	真一
大垣市	町野	眞佐子
大垣市	神野	武彦
福井県福井市	三ツ山	しげ子
大垣市	喜田	守
大垣市	矢橋	郁子
愛知県名古屋市	金森	政水

選者吟

夏川の風吹き上ぐる白帝城

武直